

## 令和6年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立日野学校  
 学校長 坪倉 寿樹

評 価 日	令和7年2月20日(木)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p><b>1 重点目標の達成状況について</b></p> <p>○Bの評価があるが、限りなくAに近いと判断している。「学びの成果発表会」の活動や発表内容は毎年良くなっていて成長している。</p> <p><b>2 目標達成のための取組結果について</b></p> <p>○重点目標の「人間力の向上」の中で規範意識や多様化する生徒への対応とあるが、どのような人権教育を行っているか。</p> <p><b>3 具体目標の達成状況について</b></p> <p>○「授業に学ぶ内容に満足」の説明の中で、個々に応じた対応とは具体的に何をしているのか。過去の理解度を遡ってスタートしているのか。</p> <p>○「人の役に立っている」についての評価は、日野高校だけが低いのではないだろう。雪かきをしたことや、地域で活躍、様々な場面で褒めてあげることが大切である。</p> <p>○学校評価アンケートの「成長を感じる」という項目では、どのような部分が成長したのかを聞いてみたい。</p> <p><b>4 目標達成のために取り組んだ具体方策について</b></p> <p>○部活動の活性化について何か対策はできないか。日野郡地区ならではの(野球、ソフトテニス)も重要。</p> <p>○時間外勤務が減ったことにより、生徒に接する時間が減ったり、部活動に支障が出たりしないのか。</p> <p><b>5 その他</b></p> <p>○特になし</p>	<p>○教職員、生徒が安心して授業や活動を行うことができているのが高評価の要因。次年度以降、Aになるように取り組む。</p> <p>○人権教育は教育の柱。人権学習の日だけでなく、教科、教育活動において意識を持って取り入れており、今後も継続する。</p> <p>○一部学び直しの授業やTT、習熟度別授業で対応している。また、特別教育支援員による支援、Chrome Bookを活用した振り返り等で個々の理解度を把握し、授業につなげている。</p> <p>○必要な項目であり、次年度以降に検討する。</p> <p>○郷土芸能、射撃だけでなく野球、ソフトテニス、バドミントン等も少人数で頑張っている。放課後には自主的に地域活動を行っている生徒もいる。</p> <p>○複数顧問の配置、部活動指導員や外部指導者を配置をし、部活動に大きな影響はない。また、生徒に接する時間が減ったという声はない。</p>	

